

今日のトピック 日本企業の業績動向（2017年6月） 最高益更新が続く見通し

ポイント1 2016年度の業績実績 経常利益は3期連続の最高益更新

【SMAM企業業績見通し】

- 当社の集計（SMAMコアリサーチ・ユニバース 224社（金融除く）、6月時点）によれば、2016年度の経常利益は30.7兆円（前年度比+2.6%）の増益となり、3期連続の過去最高益更新となりました。
- 為替が前年度の120円から108円へ円高となったことで輸出産業が減益となり、製造業の経常利益は同▲2.8%の減益となりました。非製造業は資源価格の下落による減損が一巡した商社や住宅・不動産、建設などの増益が寄与して同+11.7%となりました。

【SMAM コアリサーチ・ユニバースの業績見通し（金融除く）】 (前年度比)

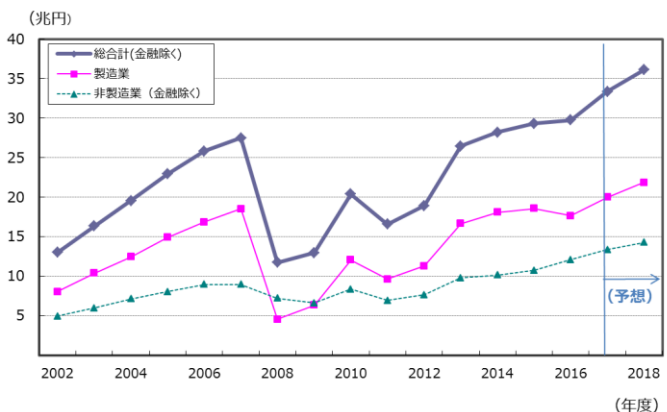
	決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
総合計（金融除く） 【224銘柄】	2015	0.7%	11.8%	4.5%	-0.6%
	2016	-2.9%	▲0.8%	2.6%	18.1%
	2017	4.7%	11.5%	12.1%	6.8%
	2018	2.0%	8.4%	8.2%	7.9%
製造業 【134銘柄】	2015	0.8%	8.5%	3.5%	1.8%
	2016	-4.0%	▲5.5%	▲2.8%	5.2%
	2017	4.9%	12.3%	13.0%	11.4%
	2018	2.1%	9.7%	9.2%	8.8%
非製造業（金融除く） 【90銘柄】	2015	0.6%	17.6%	6.2%	-4.9%
	2016	-1.1%	6.9%	11.7%	42.8%
	2017	4.5%	10.3%	10.7%	0.4%
	2018	1.8%	6.5%	6.7%	6.6%

(注) データ期間は2015年度～2018年度。2017年度以降は予想。
(出所) 三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 2017年度の業績見通し 製造業、非製造業とも2ケタ増益

- 2017年度の企業業績は、経常利益が34.4兆円（前年度比+12.1%）と、4期連続で過去最高益を更新する見通しです。製造業の経常増益率は同+13.0%、非製造業は同+10.7%増益が見込まれます。増益寄与度の大きいセクターは、通信、商社、民生用機器などです。また会社計画ベースでは同+3.9%増益であり、例年通り保守的な見積もりになっています。なお当社の為替前提は1ドル=110円、1ユーロ=120円です。

【SMAMコアリサーチ・ユニバース経常利益推移】



(注) データ期間は2002年度～2018年度。2017年度以降は予想。
(出所) 三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 業績が株価をサポート

- 市場における業績予想をみると、足元では業績が上方修正された企業数は下方修正された企業数を上回って推移しています。今後、更に保守的な企業業績が上方修正されると見込めるため、日本株式市場のサポート材料となりそうです。

ここもチェック! 2017年6月15日 米国の金融政策（2017年6月）
2017年6月 2日 日経平均株価が2万円台回復

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。